

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人一幸会	代表者	北橋 祥子	法人・事業所の特徴	一幸会サテライトプラザ内にあり、広々としたダイニング、畳敷きの和室や中庭、プライベートに配慮した宿泊者用の個室を完備した家庭的な雰囲気のある事業所です。当事業所は経験豊富な従業員を配置しており、ご利用者一人ひとりの人格を尊重し、自立支援や認知症ケア等の個別ケアを重視した介護サービスを提供しております。
事業所名	健楽園つどい	管理者	瀧澤 享子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	1人	1人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	気付きと思いやりを持ち、本人の能力を生かした自立支援を意識的に取り組んでいく。	ケアプランに沿って対応し、自立支援を促すようにしたが、できている点に介助してしまうこともあった。ミーティング等で情報共有することができた。	具体的な意見・要望などはありませんでした。	ケアプラン等で目標を理解し、本人のできること（強み）を引き出せるよう関わっていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節毎の装飾をご利用者と従業員が合同で制作し、季節感のある落ち着いた施設環境に努める。（行事の写真掲載を行う）	こまめに季節に合わせた装飾を行い、季節感のある環境整備ができた。	〃	季節感のある落ち着いた施設環境に努める。また毎月の風呂の日の内容を充実させ、普段とは違った雰囲気や季節を感じられるよう努める。
C. 事業所と地域のかかわり	従業員個々が地域事業（行事等）へ参加できるように勤務体制を整え、地域との連携や協働を推進する。	地域行事への参加は立哨運動のみであった。	〃	町内会向けの広報を通じて、ボランティア等を募り、地域住民等との交流が図れるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新規利用時、ケアプランに地域の民生委員の連絡先を記載し、こまめな連携に努める。	ケアプランに民生委員の連絡先は記載していない。独居のケースであれば、民生委員とこまめな連携はとっている。担当者会議への出席依頼は必要時としており、今年度は事例なし。	〃	民生委員や地域の資源等を把握し、これまでの暮らしが続けられるよう支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	第三者より定期的に事業所の評価や助言をしていただき、適正なサービス提供の実施を図る。	年6回開催。事業所の活動状況に関する評価、意見交換、地域からの情報提供を行う。	〃	第三者より定期的に事業所の評価や助言をしていただき、適正なサービス提供の実施を図る。
F. 事業所の防災・災害対策	災害に関する業務について、細かい部分まで検証し、業務継続計画（BCP）を更新する。	サテライトと合同で年3回防災訓練を実施したが、地域の方からの参加はなかった。BCPは机上訓練を実施。	〃	災害に関する業務について、細かい部分まで検証し、業務継続計画（BCP）を更新する。